

○事業所名	つばさ園		
○保護者評価実施期間	2024/09/23		~ 2024/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024/09/23		~ 2024/10/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024/12/13		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの工夫・充実 ・生活年齢を分けた事業所運営がされているので、利用者さんに合わせたプログラムが設定しやすいと感じます。 ・集団ならではの関りを感じながら、社会生活を行うことが出来ていると思います。	週ごとにプログラム中の活動を変更しています。課題遊び・制作・レク・長めの公園遊びを組み合わせ、様々な活動への参加の機会を持つようにしています。年齢を意識し、経験するべきものの機会を持つようにしています。	音楽や創作活動などに、より本格的なものに触れあう機会が持てることよいのではないかとのご意見をいただきました。検討させていただきます。
2	利用者さんに寄り添った支援 ・法人が児童発達支援 就労支援まで行っているのので、利用者さんへの「今、必要な支援」がイメージ出来ていると思います。	法人の大きさを活かし、事業所間での研修の機会を持つことによって、現在の利用者さんが今後どのような成長をしてくれるのか、実践を踏まえながら学んでいます。他事業所との交流から、いいところを取り入れ合い、お互いの支援の質の向上を目指しています。	今後も研修の機会を持ちながら、利用者さんの将来について考えて支援をしていきます。学年が上がることによる、他園への移行もスムーズに行えるよう、連携を図っていきます。
3	ベテランの職員が多く、落ち着いた事業所 ・所属職員の半数以上が、支援歴10年を超えるベテランです。 ・保護者様や職員間で、日常の些細なことも伝え合いながら、日々の支援を全体で振り返っている	経験豊かな職員が、お互いを尊重し合い思春期を迎える本人・支えるご家族に対して親身になって対応しています。職員間のコミュニケーションも多く、気づいたことは皆で検討する姿勢が出来ています。	現状の業務を維持しながら、連絡体制などのさらなる強化を検討していきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関り、事業所外との交流 ・地域の方と日常の中での交流は持たせていただいているのですが、交流会など事業所に招くような特別な機会は持っていません。 ・児童館など、地域の別事業との交流の機会は持っていないのが現状です。	かつては地域の高齢者施設との交流もあったようですが、感染症等の影響もあり開催が難しい現状が続いています。別事業との交流に関しては、職員数や車両などの関係で、安全を確保しての移動などに困難があると感じます。	単発の特別な機会でも持つことを設定し、交流を持つことが必要と思われます。
2	父母の会等、保護者支援 ・保護者様の負担を考え実施していなかったが、ニーズが多い旨ご指摘をいただきました。	保護者様の正確なニーズを把握できていないと感じます。	まずは、保護者様のニーズの把握に努めて参りたいと思います。
3	静養空間の不足 ・一人になりたい方が複数いた場合、対応することは難しいです。	事業所としての部屋数には限りがあることが考えられます。	部屋の使い方を検討し、パーティションなどのツールを活用することで、改善に臨めればと考えています。